

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成30年12月13日 (2018.12.13)

【公開番号】特開2017-97926(P2017-97926A)

【公開日】平成29年6月1日 (2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2017-32552(P2017-32552)

【国際特許分類】

G 0 6 T 19/20 (2011.01)

A 6 3 F 13/822 (2014.01)

A 6 3 F 13/52 (2014.01)

【F I】

G 0 6 T 19/20

A 6 3 F 13/822

A 6 3 F 13/52

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月31日 (2018.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータ装置において実行されるプログラムであって、  
コンピュータ装置を、

仮想空間内に、属性が付与され、付与された属性に応じた表示態様を有する直方体状のオブジェクトを配置するオブジェクト配置手段、

配置された配置オブジェクトの他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様を、配置オブジェクトの属性にしたがって特定する第一表示態様特定手段、

相互に隣接し、且つ、属性が異なる複数の配置オブジェクトの少なくともいずれか一方について、他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様を、配置オブジェクトの属性及び隣接する配置オブジェクトの属性に応じて特定する第二表示態様特定手段、

第一表示態様特定手段及び第二表示態様特定手段のいずれかにより特定された、面の表示態様にしたがって、配置オブジェクトを表示画面に表示するための描画を行う描画手段として機能させる、プログラム。

【請求項 2】

コンピュータ装置を、

配置された配置オブジェクトの属性及び該配置オブジェクトに隣接する配置オブジェクトの属性に基づいて、第二表示態様特定手段を実行するか否かを判定する判定手段

として機能させ、

判定手段により実行すると判定された場合には、第二表示態様特定手段のみにより、他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様を特定する、請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 3】

コンピュータ装置を、

第二表示態様特定手段により他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様を特定するための表示態様を記憶する第二表示態様記憶手段

として機能させ、

第二表示態様記憶手段が、第二表示態様特定手段による表示態様の特定の対象となる配置オブジェクトの属性と、該配置オブジェクトと隣接する配置オブジェクトの属性との組み合わせ毎に、他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様を特定するための表示態様を記憶するものであり、

第二表示態様特定手段が、配置オブジェクトの属性と、該配置オブジェクトと隣接する配置オブジェクトの属性との組み合わせに応じて、配置オブジェクトの他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様を特定する、請求項 1 又は 2 に記載のプログラム。

【請求項 4】

第二表示態様記憶手段により記憶された、他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様を特定するための表示態様が、表示態様の特定の対象となる配置オブジェクトの属性に応じた表示内容と、該配置オブジェクトと隣接する配置オブジェクトの属性に応じた表示内容を含むものである、請求項 3 に記載のプログラム。

【請求項 5】

コンピュータ装置を、

他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様として、オブジェクトの属性毎に複数の表示態様を記憶する第一表示態様記憶手段

として機能させ、

第一表示態様特定手段が、第一表示態様記憶手段に記憶された複数の表示態様から、配置オブジェクトの属性に対応する任意の表示態様を、配置オブジェクトの他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様として特定する、請求項 1～4 のいずれかに記載のプログラム。

【請求項 6】

第一表示態様記憶手段が、他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様として、オブジェクトの属性毎に、仮想空間の水平方向に平行な上下面の表示態様と、水平方向に垂直な側面の表示態様とを記憶するものであり、

第一表示態様特定手段が、第一表示態様記憶手段に記憶された上下面と側面の表示態様をもとに、配置オブジェクトの他の配置オブジェクトと接触しない面が、仮想空間の水平方向に平行な上下面であるか、水平方向に垂直な側面であるかに応じて、表示態様を特定する、請求項 5 に記載のプログラム。

【請求項 7】

仮想空間内に、属性が付与され、付与された属性に応じた表示態様を有する直方体状のオブジェクトを配置するオブジェクト配置手段と、

配置された配置オブジェクトの他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様を、配置オブジェクトの属性にしたがって特定する第一表示態様特定手段と、

相互に隣接し、且つ、属性が異なる複数の配置オブジェクトの少なくともいずれか一方について、他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様を、配置オブジェクトの属性及び隣接する配置オブジェクトの属性に応じて特定する第二表示態様特定手段と、

第一表示態様特定手段及び第二表示態様特定手段のいずれかにより特定された表示態様にしたがって、配置オブジェクトを表示画面に表示するための描画を行う描画手段とを備える、コンピュータ装置。

【請求項 8】

コンピュータ装置において実行される実行方法であって、

仮想空間内に、属性が付与され、付与された属性に応じた表示態様を有する直方体状のオブジェクトを配置するオブジェクト配置ステップと、

配置された配置オブジェクトの他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様を、配置オブジェクトの属性にしたがって特定する第一表示態様特定ステップと、

相互に隣接し、且つ、属性が異なる複数の配置オブジェクトの少なくともいずれか一方について、他の配置オブジェクトと接触しない面の表示態様を、配置オブジェクトの属性及び隣接する配置オブジェクトの属性に応じて特定する第二表示態様ステップと、

第一表示態様特定ステップ及び第二表示態様特定ステップのいずれかにより特定された表

示態様にしたがって、配置オブジェクトを表示画面に表示するための描画を行う描画ステップと  
を有する、実行方法。